

平成20年6月9日

各位

NPO法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター
会長 小野 正行
理事長 大塚 洋一

20年度 通常総会のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より当センター活動には格別のご指導ご支援を賜わり心よりお礼申し上げます。

さて、既にご案内の通り当センターでは、内閣府(担当 国土交通省)委託の全国都市再生モデル調査『多様なタイプの地域の交通資源を効率的に連携させ、高齢化の時代にも地域のすみずみまで交通弱者のない活気ある地域であるための地域交通支援情報センター実現にむけた実証的調査』(近畿大学産業理工学部情報学科山崎教授と共同調査)を実施しておりましたが、3月31日に無事終了し、検査も通り既に調査費も受領しております。これもひとえに各位のご指導の賜物と厚くお礼申し上げます。

つきましては、19年度の報告、20年度の事業計画・予算などをおはかり致したく存じております。要務ご多端の折から恐縮に存じますが、何とぞご出席賜われますようお願い方がたご案内申し上げます。

敬 具

記

日 時 平成20年6月19日(木)19:00～20:30

会 場 近畿大学産業理工学部ログハウス 飯塚市柏の森11-6

議 案 19年度事業報告・同決算報告案
20年度事業計画・同収支予算案
調査の報告
その他

以 上

ご都合の悪い場合、必ず委任状のご提出をお願いします。

平成20年度 通常総会議案書

日時 平成20年6月19日(木)19:00~20:30

会場 近畿大学産業理工学部ログハウス 飯塚市柏の森11-6

出席者 (個人会員)小野正行 大塚洋一 菊川清 藤江文雄 加地豊 槇塚忠
穂 城貞子 田淵義文

(団体会員)九州電力(株)北九州支店(飯塚営業所佐藤武之) 飯塚信用金庫
(理事松熊謙一郎)

委任状提出

(個人)太田勇司 白澤恵一 高橋宏 久門守 深町裕史 宮嶋玲子
坂山憲治 中島利男 野見山薫 山辺京子 牛嶋英俊 金原憲子 前
田三眠

(団体)しまや 鶴原液化ガス 飯塚市 桂川町 (以上敬称略)

会員40人中 出席10名 委任状提出17名 合計27名・・・3分の2を
超えて成立

開会挨拶

議長選任

議事録署名人指名

議案1 平成19年度事業報告

議案2 // // 収支決算案

議案3 平成20年度事業計画案

議案4 // // 収支予算案

議案5 『受託調査』並びにシンポジウムの報告

議案6 その他

1、規程集の一部修正案

2、『「筑豊の近代化遺産」出版を祝う会』共催と参加について

3、「福岡県立大学と共に歩む会」創立15周年記念シンポジウム参加
について

NPO法人 住学協同機構筑豊地域づくりセンター 平成20年度通常総会議事録

日 時 平成20年6月19日(木)19:00~20:30

会 場 近畿大学産業理工学部ログハウス 飯塚市柏の森11-6

出席者 (個人会員)小野正行、大塚洋一、菊川清、高橋宏、藤江文雄、加地豊
榎塚忠穂、城貞子、田淵義文

(団体会員)九州電力(株)北九州支店(飯塚営業所佐藤武之)、飯塚信用金庫(理事松熊謙一郎)

委任状 (個人会員)太田勇司、白澤恵一、久門守、深町裕史、宮嶋玲子、坂山憲治、中島利男、野見山薫、山辺京子、牛嶋英俊、金原憲子、前田三眠

(団体会員)しまや、鶴原液化ガス、飯塚市、嘉麻市、桂川町 (順不同敬称略)

会員40人中 出席11名、委任状提出17名 合計28名・・・3分の2を超えて総会は成立

議長に小野正行氏を選出、議事録署名人に小野議長のほか加地豊氏、田淵義文氏の2名を選出した後、小野議長のもとに議案の審議を行った。

議案1、平成19年度事業報告

別紙資料に基づき理事長が主要な活動について報告。

- ・ 4月5日からの一週間、センターのNPO認証記念並びに近大新入生歓迎と銘打った筑豊在住の芸術家による「屋外展示会」をログハウス前の広場で催した。
- ・ 5月9日 第1回理事会並びに総会を開催。19年度の事業計画、予算等を審議、活動のスタートを切った。
- ・ 6月29日 「健康問題と地域医療」問題で田川市立病院長池田氏の講演会。
- ・ 7月23日 国土交通省九州地方整備局(都市・住宅整備課企画調査係)と『調査』について打合せ。以降、『調査』の終了まで、対応に追われる。
- ・ 7月26日 第2回理事会。
- ・ 8月28日 北九州で開かれた中心市街地活性化シンポジウムに参加、『調査』関連のシンポジウム講師予定の藻谷氏への事前交渉。
- ・ 9月21日 第3回理事会。
- ・ 10月9日 議案資料に記載漏れしているが、調査『多様なタイプの地域の交通資源を効率的に連携させ、高齢化の時代にも地域のすみずみまで交通弱者のない活気ある地域であるための地域交通支援情報センター実現にむけた実証的調査』の契約を、国土交通省九州地方整備局(担当 都市・住宅整備課企画調査係)と交わした。
- ・ 11月4日 シンポジウム「高齢者にとって安心・安全なまちづくり」を筑豊

ゼミと共催した。

- ・ 11月27日 『調査』関連の第1回の地域交通問題懇談会を開催した。
- ・ 12月10日 第2回地域交通問題懇談会を開催。
- ・ 20年1月11日 第4回理事会。(議案書は第3回とミスプリ)
- ・ 1月14日 第3回地域交通問題懇談会を開催。
- ・ 2月8日 シンポジウム『みんなで考えよう！住民のあしの問題を』開催。
- ・ 2月16日 第6回福岡県地域おこし研修・交流会(前原市で開催)に大塚理事長と野見山理事参加。
- ・ 3月10日 第5回地域交通問題懇談会開催。
- ・ 3月31日 調査『多様なタイプの地域の交通資源を効率的に連携させ、高齢化の時代にも地域のすみずみまで交通弱者のない活気ある地域であるための地域交通支援情報センター実現にむけた実証的調査』を完成し、山崎教授と大塚理事長で国土交通省九州地方整備局(担当 都市・住宅整備課企画調査係)の検査を受け、無事パスした。

最後に、本年度は『調査』の対応に追われて、年初予定していた事業計画を十分に遂行できなかった旨の、お詫びと報告があった。……異議なく了承された。

議案2、平成19年度収支決算案

別紙に基づき理事長が説明。

- ・ 経常収入の部では、会費が個人・団体合せて215千円、事業収入が調査研究収入6,090千円(実際の入金は20年度になってからだが、県の指導では発生時に計上する)、任意団体筑豊地域づくりセンターの残余資金の寄付を合せて計6,339千円余。一方、経常支出は、情報の収集・提供事業の5,500円は地域づくり福岡県ネットワーク協議会シンポジウム参加など。調査・研究事業の6,145千円は6,090千円が『国交省調査』、残余の55千円のは大半は「筑豊研究会」への助成である。管理費は、人件費の20千円は高橋氏への手当、通信運搬費の大半はNTT電話の基本料金、雑費の主なものはNPO以降に伴う印鑑類の作成費である。
- ・ 当期収支差額35千円に前期繰越金298千円を加えた334,057円が次期20年度への繰越金となる。……加地監事の監査報告の後、審議の結果、異議なく承認された。

議案3、平成20年度事業計画案

別紙に基づき理事長が説明。

- ・ 本年度は、特に情報の収集・提供事業のうち、「地域づくり団体間の積極的な情報交換と交流強化」を実現したい。当センターがヘゲモニーをとるといふこと

ではなく、先ず「地域づくりネットワーク福岡県協議会」加盟の筑豊の団体に呼びかけて何とか実現したい。

- ・ 調査・研究事業では、昨年度立ち上げた「地域交通問題懇談会」を交通問題に特化することなく、広く地域再生・活性化問題をめぐる懇談会にしたい。
- ・ その他の事業は実施しない。

事業を展開するに当たっては、理事長一人では限界があり、役員各位に特段の尽力をお願いしたい。また、本理事会の議案ではないが、来年度の役員改選に当たっては、名実共にアクティブな人に就任して頂き、事業の遂行に尽力して貰うべきである。

・・・・審議の結果、特別の意見もなく、承認された。

議案4、平成20年度収支予算案

別紙に基づき理事長が説明。

- ・ 経常収入の会費は、個人125千円、団体150千円、計275千円を計上しているが、これは相当に努力しなければ難しい数字である。事業収入は予定していない。
- ・ 経常支出の部では、事業計画に従って情報の収集・提供事業に100千円(当初の議案書では50千円とミス)、普及啓発事業に30千円(同)、調査・研究事業に100千円、計230千円を計上した。
- ・ 管理費180千円を加えて、経常支出の合計が410千円、収支差は135千円の赤字。
- ・ 前年度からの繰入金300千円(前年度末に試算)、予備費100千円を相殺して、当期65千円の黒字。これに前期繰越金(同)を加えて363千円を計上したが、実際は前年度末の試算を上回ると思われる。

・・・・審議の結果、異議なく承認された。

議案5、『受託調査』並びに交通シンポジウム報告

「調査報告書」及び「シンポジウム報告書」を配布、基本的にはこの報告書を参照頂きたい旨理事長が説明。また、この調査の今後の展開は、飯塚市がこの4月に立ち上げたコミュニティバス運行を検討する「地域交通協議会」の議論に活かされるものと期待している。その理由として、①調査を担当した山崎教授が委員に就任していること、②コンサルが具体的調査をすると聞いているが、我々の調査が活かされると思われること、などの理由が考えられる。

これに関して、「山崎教授からその後の進捗状況を加味して、話を聞く機会を持つべき。」「日高准教授(近大産業理工学部)の本町商店街における【近大亭の活動】の話の合せると面白いのではないか」などの意見が出された。

・・・・異議なく承認された。

議案6、その他

1、規程集の一部修正案

別紙に基づいて理事長が説明。

- ・ 出張あるいは業務に際し自家用車を利用する時、燃料代としてレギュラーガソリンの価格を1リットル当たり130円支給するとしていたが、実勢に合わなくなっており又価格の変動も大きいことから、「実勢価格」に改める。

・・・・・・検討の結果、異議なく承認された。

2、「筑豊の近代化遺産」出版を祝う会の共催について

3、「福岡県立大学と共に歩む会」創立15周年記念シンポジウムの参加について

別紙案内状に基づき、理事長が説明。

2については、共催を承認すると共に、知人等に案内して頂き多数参加して頂きたい旨のお願いが理事長よりあった。

平成20年6月 日

NPO法人 住学協同機構筑豊地域づくりセンター

議 長

印

議事録署名人

印

議事録署名人

印

平成19年度 事業報告

NPO法人 住学協同機構筑豊地域づくりセンター

日時 平成19年4月5日(木)～11日(水)
会場 近畿大学産業理工学部キャンパス内 飯塚市柏の森11-6
テーマ 住学協同機構筑豊地域づくりセンターNPO法人認証記念展示会
内容 飯塚市在住の芸術家を中心とする「木材、金属、陶器を素材とする椅子などの屋外展示会」
一般市民に開放

日時 平成19年5月9日(水)18:00～19:30
会場 近畿大学産業理工学部バウヒュッテ内 飯塚市柏の森11-6
内容 平成19年度第1回理事会

日時 平成19年5月9日(水)19:30～21:00
会場 近畿大学産業理工学部バウヒュッテ内 飯塚市柏の森11-6
内容 平成19年度通常総会

日時 平成19年6月29日(金)18:00～20:00
会場 近畿大学産業理工学部視聴覚教室内 飯塚市柏の森11-6
内容 講演会「健康問題と地域医療～メタボリック症候群を中心に～」
講師 田川市立病院院長 池田 喜彦氏
一般市民に開放

日時 平成19年7月23日(月)13:30～14:30
会場 国土交通省九州地方整備局都市・住宅整備課(福岡市博多区合同庁舎)
内容 企画調査係長甲斐猛氏と調査「多様なタイプの地域の交通資源を効率的に連携させ、高齢化の時代にも地域のすみずみまで交通弱者のない活気ある地域であるための地域交通支援情報センター実現にむけた実証的調査」～以降、「地域交通支援情報センター調査」について打合せ 大塚理事長対応

日時 平成19年7月26日(水)18:00～19:30
会場 近畿大学産業理工学部バウヒュッテ内 飯塚市柏の森11-6
内容 平成19年度第2回理事会

日 時 平成19年8月8日(水)16:00～17:00
会 場 近畿大学産業理工学部バウヒュッテ内 飯塚市柏の森11-6
内 容 「地域交通支援情報センター調査」について、飯塚市総合政策課西村伸一課長、
近畿大学産業理工学部情報学科山崎重一郎教授と打合せ 大塚理事長対応

日 時 平成19年8月24日(金)14:00～15:30
会 場 近畿大学産業理工学部バウヒュッテ内 飯塚市柏の森11-6
内 容 福岡県企画振興部地域政策課地域整備係長鳥巢毅氏、同主任主事米岡栄治氏
と懇談
「地域づくり団体福岡県連絡協議会の運営をめぐって」大塚理事長対応

日 時 平成19年8月28日(火)15:00～18:35
会 場 北九州市立商工貿易会館 北九州市小倉北区古船場町1～35
内 容 中心市街地活性化シンポジウム
講演① オーバーストア・北九州市の都心部活性化の知恵
日本政策投資銀行 地域振興部参事役 藻谷浩介氏
講演② タウンマネージャーまちなか実践活性化～長野からの報告
中小機構・衷心市街地商業活性化アドバイザー
元(株)まちづくり長野タウンマネージャー 服部年明氏
大塚理事長参加

日 時 平成19年9月12日(水)13:00～14:30
会 場 近畿大学産業理工学部バウヒュッテ内 飯塚市柏の森11-6
内 容 「地域交通支援情報センター調査」について、飯塚市総合政策課西村伸一課長、
近畿大学産業理工学部情報学科山崎重一郎教授と打合せ 大塚理事長対応

日 時 平成19年9月21日(金)18:00～19:30
会 場 近畿大学産業理工学部バウヒュッテ内 飯塚市柏の森11-6
内 容 平成19年度第3回理事会

日 時 平成19年9月25日(火)11:00～12:00
会 場 近畿大学産業理工学部バウヒュッテ内 飯塚市柏の森11-6
内 容 「地域交通支援情報センター調査」資金について、飯塚信用金庫庄内支店長吉村
氏と打合せ 山崎教授 大塚理事長

日 時 平成19年10月9日(火)15:30~17:00
会 場 のがみプレジデントホテル 飯塚市新立岩12-37
内 容 福岡県企画振興部地域振興課長西山和則氏、同活性化支援係長田丸哲夫氏などと
「筑豊活性化の方策」をめぐって意見交換 大塚理事長対応

日 時 平成19年10月19日(金)10:00~10:30
会 場 飯塚市役所記者クラブ 飯塚市新立岩5-5
内 容 「地域交通支援情報センター調査」の記者発表 山崎教授、大塚理事長対応

日 時 平成19年11月4日(日)13:30~16:00
会 場 近畿大学産業理工学部視聴覚教室 飯塚市柏の森11-6
内 容 シンポジウム「高齢者にとって安心・安全なまちづくり」(筑豊ゼミと共催)
実践報告 「地域で支える防災の輪・・・いざというときのために」
報告者 尾田卓夫氏(筑豊ゼミ会員)
討 議 「高齢者にとって安心・安全なまちづくり」
パネラー ・高齢者医療の立場から 立神 高明氏(立神医院院長)
・高齢者行政の立場から 大久保 雄二氏(飯塚市高齢者福祉課長)
・飯塚大水害から 吉松 信之氏(飯塚消防署乙部中隊長消防指令)
・高齢者介護の立場から 深田芳美氏(筑豊ゼミ会員)
司 会 藤江文雄氏(筑豊ゼミ第2分科会長・筑豊地域づくりセンター理事)

日 時 平成19年11月9日(金)13:30~15:30
会 場 福岡県庁 3階保健福祉部会議室
内 容 地域づくり研修交流会の実施について 大塚理事長出席

日 時 平成19年11月19日(月)18:00~20:00
会 場 飯塚市市民交流プラザセミナー室 飯塚市吉原町6-1アイタウン
内 容 第1回地域交通問題懇談会

日 時 平成19年11月27日(火)16:30~17:30
会 場 近畿大学産業理工学部情報学科山崎研究室 飯塚市柏の森11-6
内 容 「地域交通支援情報センター調査」の進捗状況と進め方について
山崎教授、研究室学生、大塚理事長

日 時 平成19年12月10日(月)18:00~20:00
会 場 飯塚市市民交流プラザセミナー室 飯塚市吉原町6-1アイタウン

内 容 第2回地域交通問題懇談会

日時平成20年1月11日(金)18:00~20:30

会場飯塚市市民交流プラザセミナー室 飯塚市吉原町6-1アイタウン

内容 平成19年度第3回理事会

日 時 平成20年1月14日(月)18:00~20:00

会 場 飯塚市市民交流プラザセミナー室 飯塚市吉原町6-1アイタウン

内 容 第3回地域交通問題懇談会

日 時 平成20年1月20日(日)13:30~18:00

会 場 木屋瀬宿記念館こやのせ座 北九州市八幡西区木屋瀬

内 容 遠賀川水フォーラム~流域リーダーサミット 大塚理事長参加

日 時 平成20年1月22日(火)18:00~20:00

会 場 のがみプレジデントホテル 飯塚市新立岩12-37

内 容 地域交通問題シンポジウム パネリスト打合せ

日 時 平成20年2月8日(金)13:00~16:00

会 場 のがみプレジデントホテル 飯塚市新立岩12-37

内 容 シンポジウム『みんなで考えよう!住民のあしの問題を』

(第4回地域交通問題懇談会)

次第 特別講演 地方都市再生への助言

日本政策投資銀行地域振興部参事役 藻谷 浩介氏

問題提起 地域交通支援情報センター実現のための調査

近畿大学産業理工学部教授 山崎 重一郎氏

コーディネーター

NPO 法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター

理事長 大塚 洋一

パネリスト 幸袋自治会連合会会長・幸袋タクシー社長

志岐 博一氏

子育てオアシス代表 藤江 文雄氏

飯塚市商店街連合会会長 中田 資明氏

西鉄バス筑豊社長 柴田 政範氏

飯塚市企画調整部長 縄田 洋明氏

日 時 平成20年2月16日(土)13:00~18:40
会 場 伊都文化会館 前原市前原東2-2-7
内 容 第6回福岡県地域おこし研修・交流会 大塚理事長参加

日 時 平成20年3月10日(月)18:00~20:00
会 場 飯塚市市民交流プラザセミナー室 飯塚市吉原町6-1アイタウン
内 容 第5回地域交通問題懇談会

日 時 平成20年3月31日(月)11:00~12:00
会 場 国土交通省九州地方整備局 福岡市博多区博多駅東
内 容 調査『多様なタイプの地域の交通資源を効率的に連携させ、高齢化の時代にも地域のすみずみまで交通弱者のない活気ある地域であるための地域交通支援情報センター実現にむけた実証的調査』の検査 山崎教授・大塚理事長対応

- * 10月9日付けで前期調査の契約を国交省と交わしたが、8月頃から事前準備並びに調査(直接的には、当センターはシンポジウムと地域交通問題懇談会の開催を担当)全般の事務作業などに追われて、センターの他の事業に対応できなかった。

平成19年度特定非営利活動に係る事業会計収支計算書(案)

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

NPO法人 住学協同機構筑豊地域づくりセンター

科 目	金 額 (単位:円)	
I 経常収入の部		
1 会費収入		
個人会費	105,000	
団体会費	110,000	215,000
2 事業収入		
①情報の収集・提供事業収入	0	
②普及啓発事業収入	0	
③調査・研究事業収入	6,090,000	6,090,000
3 寄付金収入	33,706	33,706
4 雑収入		
①預金金利	379	379
経常収入合計		6,339,085
II 経常支出の部		
1 事業費		
①情報の収集・提供事業	5,500	
②普及啓発事業	0	
③調査・研究事業	6,140,330	6,145,830
2 管理費		
①給料手当	20,000	
②印刷費	16,690	
③通信運搬費	61,395	
④消耗品費	16,697	
⑤雑費	42,569	157,351
経常支出合計		6,303,181
経常収支差額		35,904
III その他資金収入の部		
1 その他の事業会計からの繰入	0	0
その他資金収入の部合計		0
IV その他資金支出の部		
1 予備費	0	0
その他資金支出合計		0
当期収支差額		35,904
前期繰越収支差額		298,153
次期繰越収支差額		334,057

平成20年度特定非営利活動に係る事業会計収支予算書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

NPO法人 住学協同機構筑豊地域づくりセンター

科 目	金 額 (単位:円)	
I 経常収入の部		
1 会費収入		275,000
個人会費	125,000	
団体会費	150,000	
2 事業収入	0	0
経常収入合計		275,000
II 経常支出の部		
1 事業費		
情報の収集・提供事業	50,000	
普及啓発事業	80,000	
調査・研究事業	100,000	230,000
2 管理費		
事務費	120,000	
人件費	60,000	180,000
経常支出合計		410,000
経常収支差額		▲135,000
III その他資金収入の部		
1 その他の事業会計からの繰入	0	0
2 前年度調査からの繰入	300,000	300,000
その他資金収入の部合計		300,000
IV その他資金支出の部		
1 予備費	100,000	100,000
その他資金支出合計		100,000
当期収支差額		65,000
前期繰越収支差額		292,000
次期繰越収支差額		357,000